

ウェブマーケの学栄社

AIで補助・助成金の申請を効率化

システム開発し士業者や支援機関に拡販

ウェブマーケティング支援などの学栄社（西区井口、小野学社長）は補助金申請業務などを効率化する「学AI補助金・助成金アシスタント」を開発した。業務の約8割をAIが担えるよう設計。社労士や行政書士、中小企業診断士、税理士などの士業事務所や商工会議所などの支援機関向けに提案し、申請支援サービスの拡充を後押しする。

実務経験の豊富な広島、東京の士業に加え、他県の商工会議所、国内と海外のAIエンジニアチームの協力を受けてシステム化。決算書から数字を読み込んで必要な部分を自動で申請書に落とし込めるほか、AIが質問した回答を基に各補助金の要件や書式に合わせて計画書案を作成するヒアリング機能を設けた。会社の経歴や事業内容、現状を把握するSWOT（スウォット）分析など、収集した情報が各補助金・助成金に沿った内容になる文章案を生成する。効率化によって申請者はより精度の高い内容に仕上げることができるといふ。2024年12月に広島県の経営革新計画の承認を受けた。

協力先へ先行導入して効果を検証し、3月を境にサービス開始予定。販売代理店を募り、全国へ拡販する計画。既に広島や東京、埼玉、栃木などの支援機関から問い合わせが増えてきている。小野社長は「コロナ禍以降に補助金・助成金の申請は全



国で約5万件と増加傾向にあり、代金の需要が高まる。一方、業務負担が大きく、積極的に代行依頼を受ける事務所は多くない。競合他社にない経営革新計画や各都道府県・市の補助金への対応など、きめ細やかな機能で、業務に追われる士業事務所と中小企業双方の課題解決につなげたい」と話した。

軽貨物配送のスタンダード
軽商用電気自動車を導入

軽貨物配送のスタンダード（中区西平塚町、新井達也社長）は1月29日、軽商用電気自動車「ASF2・0」を中国地方の軽貨物事業者初めて導入する。

同車種は電気自動車製造販売のASF（東京）が佐川急便と共同で開発し2023年に発売した。ドライバーの声を受け、荷室のフラット設計や両側スライドドアを採用。積み下ろし作業の効率を向上させたほか、衝突被害軽減ブレーキなどの安全装備も搭載している。航続距離は最大243キロメートル。中国軽貨物協会の代表幹事も務める新井社長は「今後、増車を予定。CO₂排出量を削減し、持続可能な物流体制の構築に寄与したい」と話した。

DSのダイレックス（佐賀）
府中町と安佐北区に新店

サンドラッグ（東京）子会社でディスプレイストアのダイレックス（佐賀）は3月28日、府中町青崎東5969-15ほかに「青崎店」をオープンする。来年3月には安佐北区落合5-16-7ほかに高陽店を開き、県内24店体制とする。

青崎店はスーパーのアルゾ青崎店や藤三向洋店が近隣にそろう敷地4300平方メートル、平屋を新築。店舗面積は1460平方メートルで、102台分の駐車場を備える。高陽店は高陽

団地入口交差点近くのパチンコ店舗地1万343平方メートルに平屋を建て、売り場面積は1600平方メートル程度とする計画。駐車場187台分。いずれも生鮮品、総菜、日用雑貨、医薬品、化粧品、家電などを扱い、午前9時～午後10時に営業する。

同社は商圏人口3万人ほどを見込める郊外エリアのロードサイドを中心に大型店を展開。売り場面積300～500坪（990～1650平方メートル）で約50台以上の無料駐車スペースを同一敷地内に設けられる1000坪（3300平方メートル）程度を出店条件とし現在、全国408店舗を展開している。県内1号は2003年の東広島店（東広島市西条中央）で、24年は宇品店（南区宇品西）と五日市北店（佐伯区八幡）を開いた。

21が新商品発売
鼻パッドないメガネ
メガネ店経営の21（佐伯区海老園、田川亮社長）は1月3日、鼻パッドがないメガネの新商品「フィットスマー

ト」を発売した。既存品に比べて耳に掛けるテンブル（つる）が細めで目立ちにくく、市販のピアスで飾り付けができる。

つるには360度に動く透明な部品を付け、鼻パッドなしでメガネを支える。同部品は前後に可動し、髪に隠れるように配置できる。鼻パッドで皮膚が圧迫されて起こる色素沈着や化粧崩れを防げるとして、女性を中心に需要を見込む。希求型に応じ、つるの装飾としてピアスを付けるための穴を開ける。レンズ周囲に接着する縁なしで、レンズ周囲に着色して縁あり風にもできる。増殖オレンジなど9色。税込2万1000円、レンズ代（3000円）別途。福井



途。福井県鯖江市のメガネメーカーに製造を委託した。